

# 週間漁海況情報—第18号

平成24年5月7日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

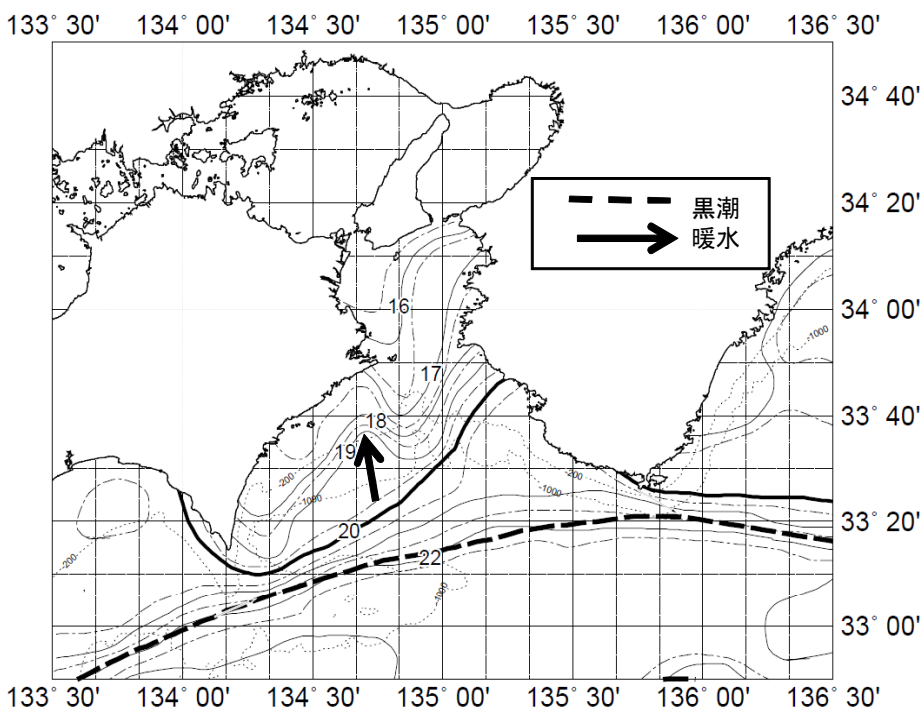
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.5.7)を示した。

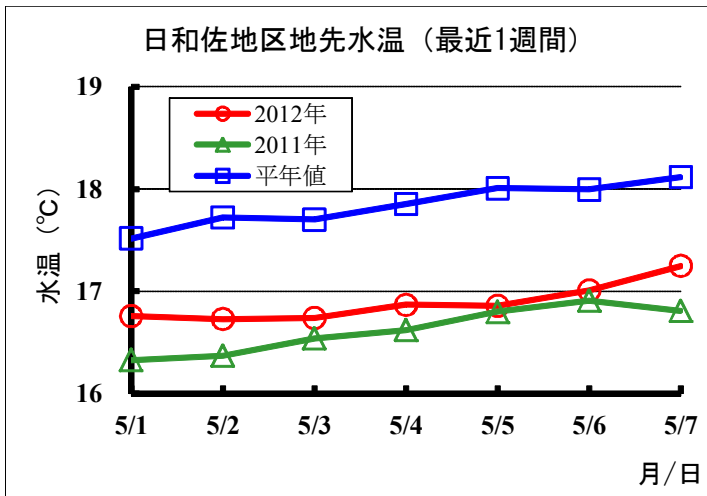
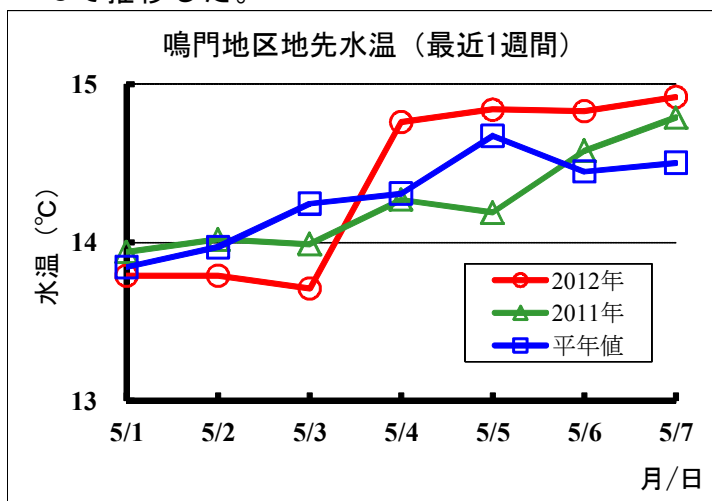
黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、22～23℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で13～15℃台、紀伊水道で15～17℃台、海部沿岸で16～18℃台である。

紀伊水道外域では、蒲生田岬に向けて18～19℃の暖水流入がみられる。暖水波及の北東部の紀伊水道中央部からは、16～17℃からの内海系水が南下がみられる。



**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「やや高め」の13.7～14.9℃、日和佐地区で「やや低め」の16.7～17.3℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の16.5～17.2℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で中主体にアカムツが0.4トン（1日1隻当たり36kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でブリが0.5トン（同22kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.2トン（同5kg）、ウルメイワシが0.8トン（同22kg）、カタクチイワシが0.6トン（同18kg）、キビナゴが2.0トン（同74kg）、小小主体にサバ類が3.6トン（同61kg）、スルメイカが1.0トン（同13kg）、小主体にマアジが0.3トン（同16kg）、マイワシが0.9トン（同30kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、イワシ類が3.0トン（同1,511kg）、ブリが16.3トン（同8,141kg）、メジロが2.0トン（同1,010kg）特大主体にマアジが1.9トン（同975kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが1.1トン（同60kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが32.1トン（同282kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 4月30日～5月6日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	10	358	36	中主体
建網		ブリ	25	540	22	
小型定置網		アオリイカ	46	221	5	
		ウルメイワシ	34	754	22	
		カタクチイワシ	33	596	18	
		キビナゴ	27	1,989	74	
		サバ類	58	3,562	61	小小主体
		スルメイカ	79	1,032	13	
		マアジ	20	328	16	小主体
大型定置網		マイワシ	29	874	30	
		イワシ類	2	3,022	1,511	
		ブリ	2	16,281	8,141	
		メジロ	2	2,020	1,010	大主体
		マアジ	2	1,949	975	特大主体
釣り	紀伊水道	カツオ	18	1,072	60	中主体
パッチ網		シラス	114	32,125	282	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の14～15℃台、日和佐地先は「やや低め」の17℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年5月2～5月8日の海部沿岸では、建網でブリが0.2トン、小型定置網でアオリイカが0.4トン、キビナゴが0.4トン、小小主体でゴマサバ主体のサバ類が0.4トン、小主体にマアジが12.3トン、マイワシが1.8トン、大型定置網で、大主体にアオリイカが0.2トン、中主体でクロダイが1.2トン、クロマグロが8本で0.4トン、小主体でシイラが1.2トン、特大主体にタチウオが0.3トン、ブリが2.6トン、メジロが1.5トン、中主体にハマチが4.1トン、特大・大主体にマアジが8.2トン、小小主体にマルアジが2.4トン、釣りで、中主体にタチウオが0.3トン、中主体にマルアジが0.3トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが11.1水揚げされた。